TOSHIBA
Leading Innovation

東芝 CD ラジオ
取扱説明書

形 名
TY-CW25

日本国内専用
Use only in Japan

- このたびは CD ラジオをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、必要なときすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

- 保証書はこの取扱説明書についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

001

東芝CDラジオ保証書

持込修理品

形名	TY-CW25	
★お客様	お名前 ふりがな 様	
	ご住所 〒□□□-□□□□	
	電話 市外 市内 番号 呼	
保証期間	本体 1年	★お買い上げ日 年 月 日から
★ご販売店	住所・店名 電話	

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝エルイートレーディング株式会社
〒101−0021 東京都千代田区外神田1−1−8（東芝万世橋ビル）

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。
また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
6. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝エルイートレーディングサポートセンターへご相談ください。

修理メモ 修理年月日	修理内容	担当
年 月 日		
年 月 日		

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝エルイートレーディング株式会社
〒101−0021 東京都千代田区外神田1−1−8（東芝万世橋ビル）

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告 “死亡または重傷を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意 “軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること”を示します。

図記号の説明

禁止 してはいけないこと（禁止）を示します。
指示 しなければならないこと（指示）を示します。

電源コード・電源プラグについて

⚠警告

指示
- **電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込む**
- **電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやホコリがついている場合は、電源プラグを抜きゴミやホコリをとる**
- **電源プラグを持ってコンセントから引き抜く**
- **本機の電源を切っても、内部の電源は完全に切れていないので、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する**
- **電源コードを取り扱うときは、次のことを守る**
  ・傷つけない ・延長するなど加工しない ・加熱しない ・引っ張らない ・重いものを載せない ・はさんだりしない ・無理に曲げない ・ねじらない ・束ねたりしない
  火災の原因となります。

禁止
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
- **電源コードは付属のもの以外を使用しない**
  火災・感電の原因となります。

⚠注意

プラグを抜く **長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

禁止 **付属の電源コードを本製品以外には使用しない**
火災・感電の原因となります。

もし異常が起こったら

⚠警告

指示 **異常・故障時には、すぐに使用を中止する**
火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
（異常・故障例）
・発煙や変なにおいがする ・電源コードが傷む ・電源プラグが発熱
・落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損 ・内部に水や異物などが入った

保証とアフターサービス 必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エルイートレーディングサポートセンター
フリーダイヤル **0120-28-0488**
受付時間：365日 9:00〜20:00
携帯電話・IP電話など
050-3786-0488（通話料：有料）
FAX
03-3258-0470（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から１年間です。**

補修用性能部品の保有期間

- CD ラジオの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後６年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは 持込修理品

本書に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

■保証期間中は
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金。
部品代	修理に使用した部品代。

便利メモ	お買い上げ日	年 月 日	お買い上げ店名	電話 （ ）

愛情点検 長年ご使用の機器の点検をぜひ！

このような症状はありませんか。
- 電源コードが傷んでいる
- 煙がでる
- 変なにおいがする
- その他の異常や故障がある

ご使用中止 故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

ご使用について

⚠警告

分解禁止 **分解・修理・改造はしない**
感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

⚠注意

禁止
- **CD 挿入口に手を入れない**
- **円形ディスク以外は使用しない**
- **CD ピックアップをのぞき込まない**
- **機器の上にのったり、上に重いものを置いたりしない**
- **ヘッドホンの音量を上げすぎない**
- **通風口をふさがない（背面 3cm、左右側面 5cm 以上の間隔をあける）**
  けがの原因となります。

設置について

⚠警告

禁止 **次のような場所には置いたり、使用しない**
・ふろ場など、水がかかったり、湿気の多い場所
・雨、きりなどが直接入り込むような場所
・雨天時の屋外
・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所 ・直射日光の当たる場所
・炎天下の車内 ・ホコリ、油煙の多い（調理場など）場所 ・振動の強い場所
・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所
・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
火災・感電の原因となります。

電池について

⚠注意

指示 **乾電池を取り扱うときは、次のことを守る**
・指定以外の電池は使用しない
・極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
・本体から電源コードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない
・長時間使用しないときは、本体から乾電池を取り出す
・水にぬらしたり、ぬれた手で触れない
・直射日光の当たる場所や火の近くなどの熱源の近くに置かない
発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。
器具についた場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

お願い
●近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

故障かな？と思ったとき

症状	原因	処置方法
電源・アンプ関係		
音がでない	● 電源プラグがはずれている ● 乾電池が消耗している ● 音量レベルが下がっている ● ヘッドホンが差し込まれている ● 機能切換が合っていない	→ プラグを確実に差し込む → 乾電池を交換するか、AC で使用する → 音量レベルを調節する → ヘッドホンをはずす → 機能切換を合わせる
CD プレーヤー関係		
音がでない	● CD ピックアップが汚れている ● CD に傷、汚れ、指紋、油、ホコリがついている。	→ CD ピックアップ部を清掃する → CD を交換する → CD の汚れを取り除く
再生が始まらない	● 「CD について」に記載された CD ではない ● CD が裏返しになっている ● CD が汚れている	→「CD について」に記載された CD と交換する → タイトル表記面を手前にして入れる → 清掃する
音がとぶ	● CD に大きな傷やそりがある ● 振動する場所に設置している ● CD に傷がある ● 音量が大きすぎる	→ CD をとりかえる → 振動のない場所に設置する → CD を交換して確かめる → 音量を下げる
ラジオ関係		
雑音が多く聴きづらい	● 電源雑音の影響を受けている ● モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている ● 電波が弱い	→ コンセントへのプラグの差し込みを反転してみる → 本機を雑音源から離す → テレビを消す → アンテナを調節する
Bluetooth®		
音がとぎれる 音が飛ぶ雑音が多い	● Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10m）を超えている、もしくは間に障害物があったり、他機器から影響を受けたりしている	→ 機器に近づける、または障害物を避けて使用する
つながらない	● Bluetooth® の対応機器バージョン、プロファイルが違う	→「Bluetooth® 対応機器の音声を聴く」に記載されたバージョン、プロファイルに対応した機器を使用する。

お願い
●CD の再生中に、表示や動作が異常になった場合は、一度 電源 を押し電源を切ってから電源コードをはずし、再度電源コードをつないでから「CD」に戻して、操作し直してください。
●長時間使用していると、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

仕様

CD プレーヤー部

チャンネル数	2 チャンネルステレオ
再生可能ディスク	CD、CD-R/RW(CD-DA フォーマットで記録されたディスク)

ラジオ部

受信周波数（＊）	AM：531kHz ～ 1,629kHz FM：76.0MHz ～ 90.0MHz

Bluetooth® 部

バージョン	Ver 2.1+EDR 対応プロファイル A2DP、AVRCP
見通し通信距離	約 10m

共通部

実用最大出力（＊）	1W ＋ 1W
スピーカー（＊）	8cm φコーン型（8 Ω）× 2
入出力端子	外部入力：3.5 φステレオミニジャック ヘッドホン出力：3.5 φステレオミニジャック
電池持続時間（＊）	東芝アルカリ乾電池 単２×６本使用時 ラジオ受信時：約 40 時間 CD 再生時：約 15 時間
電源（＊）	AC 100V、50/60Hz DC 9V、単２形乾電池×６本（別売）
消費電力（＊）	11W
最大外形寸法（＊）	318（幅）× 152（高さ）× 65（奥行）mm（ボタン・ツマミなどの突起物含ます）
質量（＊）	約 1.2kg（乾電池含ます）
付属品	電源コード、取扱説明書（保証書付）

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
（＊）印は（社）電子情報技術産業協会の定める「JEITA 規格」による測定値。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

CD について

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

- CD-R、CD-RW ディスクについては、音楽収録用規格（CD-DA フォーマット）で記録された一般市販ディスクが再生できます。
- 反射率が低いディスクは情報を読み込めない場合があります。
- コピーコントロール CD や特殊形状など規格外のディスクは再生できません。
- CD の再生中は CD ドアを開けないでください。CD を傷つけることがあります。
- CD に傷、指紋、ホコリがついていると、再生できないことがあります。
  一部再生できた場合でも音がとんだり、停止することがあります。
- CD はディスクテーブルのセンターホルダーにしっかりはめ込んでください。正しくホールドされていない場合、CD に傷をつけたり故障の原因となります。
- CD が正しくホールドされていない場合や読み取れない CD が入っている場合、“no Cd” が表示され、再生できません。
- 必ず専用ケースに入れて保管ください。
- CD 面に紙やシールを貼らないでください。偏芯したり、面振れして正しく再生できなくなります。
- CD 面に汚れや傷がつかないように大切に扱ってください。
- 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。変形して再生できなくなります。
- CD を入れる前に再生面にホコリやゴミ、指紋などがついていたら、やわらかい布でふき取ってください。
- シンナーやベンジン、アルコールは CD の情報面を犯し、読み込めなくなるので使用しないでください。

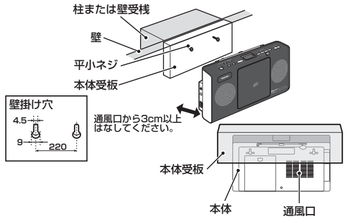
Bluetooth® について

Bluetooth®

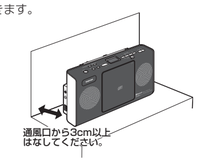
- Bluetooth® とは電子機器同士をワイヤレス（無線）でつなぐことにより、ケーブルを使わずに接続する技術のことです。本機と Bluetooth® 対応機器をワイヤレス接続し、音声を楽しむことができます。
- 本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は必要ありません。
- ただし、本機に以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  • 分解、改造すること
  • 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。
- 電波障害について
  他のエレクトロニクス機器の近くに設置した場合、正常に動作しない可能性があります。
- 使用制限
  • すべての Bluetooth® 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
  • 本機と接続する Bluetooth® 対応機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth® 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth® 標準規格に適合していても、Bluetooth® 対応機器の特性と仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 使用可能距離について
  本機に接続する Bluetooth® 対応機器は、見通しの良い場所で約 10 メートル以内で使用してください。
  周囲の環境や建物の構造などによって、使用可能距離が短くなる可能性があります。

据付について

■ 壁に掛ける場合
柱または壁受桟に本体受板をしっかり固定してから、市販の平小ネジ（4φ）で取り付けます。



■ 台の上に置く場合
丈夫で水平な安定した台の上に置き、転倒・落下しないように防止して据置きます。



お願い
●本体受板は、電池を入れたときの本体総質量（2.0kg）に十分耐えられる構造にしてください。
●地震などの揺れに対しても、容易にはずれて落下しないようにしてください。
●本体背面の通風口を ふさがないように 3cm 以上のすき間をあけてください。

お手入れのしかた

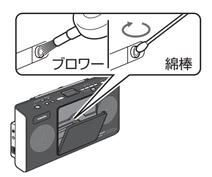
本体のお手入れ

やわらかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

CDピックアップ(レンズ)部

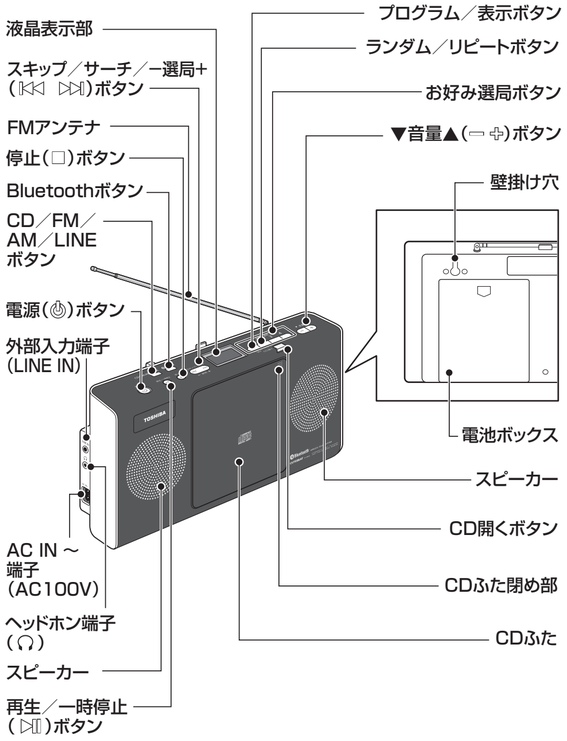
CDピックアップ（レンズ部）を強く押したり、衝撃を与えないでください。故障します。
CD装着部のレンズが汚れると、音とびが起きたり、再生ができなくなったりします。
ホコリなどは、市販のブロワーでレンズを2、3回ふき、ブラシの先でホコリを掃き出します。指紋などレンズについた汚れは、市販のレンズクリーナーを市販の綿棒につけ、レンズの中心から外に向かって、円を描くように軽くふいてください。



お願い
●レンズを指でふかないでください。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

各部のなまえ



付属品

電源コード

保証書付取扱説明書

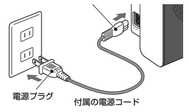
電源について

家庭用電源（AC100V）でご使用のとき

1 電源コードのプラグを側面のAC100V端子へ差し込む

電源コードのプラグは必ず奥まで確実に差し込んでください。

2 電源プラグをAC100Vのコンセントへ差し込む

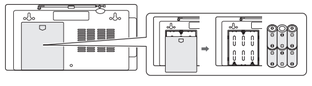


お願い

- 電源コードを抜き差しするときは、電源 ⏻ を押して電源を切った状態にしてください。
- 電源を切っても、電源コードのプラグを電源コンセントに差し込んだままだと、わずかですが電力が消費されます。完全に消費をなくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

乾電池（別売り）でご使用のとき

電池ぶたの矢印部分（OPEN）を押しながら図の矢印の方向にスライドさせてはずし、別売の単２形乾電池６本を図のように入れ、電池ぶたのフック部分を溝に入れスライドさせて閉めます。



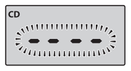
- 極性（⊕と⊖）を間違えないように図のように入れます。
- 電源コードが AC IN ～端子に挿入されているときは、乾電池の電源は切れた状態になります。
- 長期間（１カ月以上）使用しない場合や AC 電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

乾電池の交換時期は…

乾電池が消耗してくると、音が小さくなる、音がひずむ、CDが正常に動作しない、自動で電源が切れたりします。交換するときはすべて新しい電池に交換してください。

共通操作について

ボタンの押しかたについて
●押す…短く押して放すことです。（2 秒未満） ●長押しする…長く押し続けることです。（2 秒以上）

電源を入れる	電源 ⏻ を押す 初めて電源を入れると、液晶表示部に“CD”と“– – – –”が表示され、“– – – –”が点滅します。 • ２回目から最後に使ったモード（CD／FM／AM／“LINE”）が表示され、動作を開始します。	
音量を調節する	▼音量▲（🔈🔊）を押す 音量設定が終わると、液晶表示部に設定した音量（数字）が２秒間表示されます。２秒間を経過すると、音量表示は元の表示に戻ります。 • 音量は 00～31 の調整ができます。	
ヘッドホンで聴くする	ミニプラグ付のステレオヘッドホン（3.5 φ別売）を側面のヘッドホン端子（Ω）に接続する ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音はでなくなります。	
電源を切る	電源 ⏻ を押す 動作中に押すと液晶表示が消え、電源が切れます。	

CD を聴く

音楽 CD を聴きます。

通常再生

1 電源 ⏻ を押す

最後に使用した状態（CD／FM／AM／“LINE”）で、電源が入ります。

2 CD/FM/AM/LINE ▭ を押し、CDに切り換える

“CD”表示後“– – – –”が約5～10秒間点滅し“no Cd”が表示されます。

• CDを装着したままにしておいた場合、総曲数を２秒間表示後総演奏時間（TOC）が表示されます。

3 「CD開く」ボタンを押してCDふたを開ける

CDふたを開けると“OPEN”が表示されます。

4 CDを入れてCDふたを閉める

“– – – –”が点滅し自動的にCD の読み込みが始まります。

• 読み込みが終了すると、総曲数を２秒間表示後に総演奏時間（TOC）が表示されます。

• 読み込めないCDの場合は“Err”が表示されます。

総演奏時間63分8秒の例

5 再生／一時停止 ⏯ を押す

▶が表示され、曲番01 から通常再生が始まります。

• 曲番“T01”を１秒間表示後、再生経過時間が表示されます。

• 一曲目から最終曲まで順に再生し、曲が終了すると停止します。

• 再生経過時間表示中に プログラム／表示 ▭ を押すと曲番号を２秒間表示します。

6 途中で止めるときは 停止 □ を押す

CDの再生が停止します。□ を押さなくても最終曲が終了すると停止します。

• 停止すると液晶表示部には総曲数を２秒間表示後、総演奏時間（TOC）が表示されます。

■ 再生の一時停止

CD再生中に 再生／一時停止 ⏯ を押す

CD再生が一時停止します。▶ が点滅します。

もう一度 ⏯ を押すと、CD再生が始まります。

• 一時停止中 15 分間操作しないと停止に切り換わります。

■ 聴きたい曲から聴く（スキップ）

スキップ／サーチ ⏮⏭ を押すと、聞きたい曲をすばやく再生できます

● ⏭ を押すと次の曲へ進み、⏮ を押すと前の曲に戻ります。

● 長押しすると、連続して進みます。

● 再生中に ⏮ または ⏭ を押すごとに再生中の曲番の頭に戻したり次の曲番の頭に進めたりできます。

■ 早送り／早戻し

CD再生中または一時停止中に スキップ／サーチ ⏮⏭ を長押しして、希望のところで指を離す

● ⏭ を押すと早送りになり、⏮ を押すと早戻しになります。

■ 頭出し

CD 再生または一時停止中に スキップ／サーチ ⏮⏭ を押す

● ⏭ を押すと再生中の曲番の次の曲番の頭出しになります。

● ⏮ を押すと再生中の曲番の頭出し、２回押すと再生中の前の曲番の頭出しになります。

Bluetooth® 対応機器の音声を聴く

Bluetooth® 対応機器を無線接続し、本機のスピーカーから音声を楽しむことができます。

1 電源 ⏻ を押す

2 Bluetooth ▭ を押し、Bluetooth® の受信モードにする

ペアリングが完了すると、液晶表示部に“bLUE”が表示されます。

3 Bluetooth® 対応機器を発信モードにする

• Bluetooth® 対応機器側でBluetooth® の設定画面を開き、機種名（TY-CW25）を選んで接続します。

• 液晶表示部に「CONNECT」と表示され接続します。

• Bluetooth® 対応機器の操作は、接続機器の取扱説明書などをご確認ください。

4 接続したBluetooth® 対応機器を再生する

• 本機のスピーカーから音声が流れます。

• 再生、停止などはBluetooth® 対応機器側で操作してください。

• 音量は本機側で操作をしてください。

• 再生が終わったらBluetooth® 対応機器の接続を解除してください。

お知らせ

- 本機から Bluetooth® 対応機器への送信はできません。
- Bluetooth® 対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示、動作が異なる場合があります。
- 本機で Bluetooth® を聴くには、Bluetooth® 対応機器が以下に対応している必要があります。
  Bluetooth® バージョン
  Bluetooth® 標準規格 ver1.1、1.2、2.0+EDR、2.1+EDR のいずれか
  Bluetooth® プロファイル
  Advanced Audio Distribution Profile（A2DP）、Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP）

プログラム再生（プログラムした曲順で再生する）

お好みの曲を 20 曲までプログラム予約できます。

1 CD停止中に プログラム／表示 ▭ を押す

液晶表示部に“PROG”と“P01”が点滅します。

2 スキップ／サーチ ⏮⏭ を押し、プログラム予約をしたい曲番を選ぶ

プログラム番号“P01”が点滅中に スキップ／サーチ ⏮⏭ を押してください。

プログラム１にCDの３曲目を設定している例

3 プログラム／表示 ▭ を押し、決定する

次のプログラム番号“P02”が点滅します。

4 次の曲番をプログラム予約するときは、スキップ／サーチ ⏮⏭ を押してから プログラム／表示 ▭ を押し、プログラム予約をする

• 手順１～４の操作を繰り返すことで、最大20曲までプログラム設定できます。

• 20曲を設定すると“FULL”が60秒間表示し設定が終了します。

プログラム２にCDの12曲目を設定している例

5 再生／一時停止 ⏯ を押す

プログラム予約した最初の曲番から再生が始まります。

⏭ を押すと次のプログラム番号の曲の再生が始まります。

• 停止 □ を押してプログラム設定を終了することもできます。

• プログラム予約した曲番が再生された後停止します。

■ プログラム再生中での曲番の表示

• 再生中に プログラム／表示 ▭ を押すと曲番号が１秒間表示されます。

■ プログラムの確認

• プログラム再生一時停止中に、スキップ／サーチ ⏮⏭ を押す

• プログラムした曲順に表示されます。

• もう一度 ⏯ を押すと、表示されている曲から再生が始まります。

■ プログラムした曲番の変更

• プログラム／表示 ▭ を押して変更するプログラム番号を選び、スキップ／サーチ ⏮⏭ を押します。

• プログラム／表示 ▭ を押すたびにプログラム番号が進みます。

■ プログラム登録の消去をするには

• 停止中に「他の音源を選ぶ」、「CDふたを開ける」、または「電源を切る」とプログラム登録の内容が消去されます。

リピート・ランダム再生

リピート再生（１曲再生／全曲再生）やランダム再生できます。

■ １曲リピート再生（同じ曲を繰り返し再生する）

1 CD停止中、CD再生中や一時停止中に、スキップ／サーチ ⏮⏭ でリピートしたい曲番を選ぶ

2 CD停止中、CD再生中や一時停止中に、ランダム／リピート ▭ を押す

液晶表示部に“REPEAT”が点滅し、選んだ曲のリピート再生が始まります。

3 CD停止中、または一時停止中の場合、再生／一時停止 ⏯ を押す

選んだ曲を繰り返し再生します。

■ 全曲リピート再生（CDに収録されている全曲を繰り返し再生）

1 CD停止中、CD再生中や一時停止中に ランダム／リピート ▭ を２回押す

液晶表示部に“REPEAT”が表示され（点滅無し）、現在の曲から全曲リピート再生が始まります。

• スキップ／サーチ ⏮⏭ を押して選曲すると、選んだ曲から全曲リピート再生ができます。

2 CD停止中、または一時停止中の場合、再生／一時停止 ⏯ を押す

全曲を繰り返し再生します。

■ ランダム再生（順不同で再生する）

1 CD停止中、CD再生中や一時停止中に ランダム／リピート ▭ を３回押す

液晶表示部に“RANDOM”が表示され、選んだ曲番からのランダム再生が始まります。

2 CD停止中、または一時停止中の場合、再生／一時停止 ⏯ を押す

■ プログラムリピート再生（プログラムした曲を繰り返し再生する）

1 プログラム再生中または一時停止中に ランダム／リピート ▭ を１回または２回押す

“REPEAT ”が表示され、プログラムリピート再生が始まります。

• ランダム／リピート ▭ を１回押すと、“REPEAT ”が点滅し、１曲のリピート再生となります。

• ランダム／リピート ▭ を２回押すと、“REPEAT ”が表示され（点滅無し）、プログラム全曲のリピート再生となります。

2 一時停止中の場合、再生／一時停止 ⏯ を押す

■ リピート再生／ランダム再生の取消

リピート再生中またはランダム再生中に“REPEAT ”または“RANDOM”の表示が消えるまで ランダム／リピート ▭ を押す

リピート再生またはランダム再生が解除されます。

ラジオを聴く

FM 放送または AM 放送を受信します。
お好みの放送局を、FM と AM それぞれ４局まで登録できます。

通常受信

1 電源 ⏻ を押す

最後に使用した状態（CD/FM/AM/“LINE”）で、電源が入ります。

2 CD/FM/AM/LINE ▭ を押して、希望の受信バンドを選ぶ

押すごとにCD→FM→AM→LINEの順に切り換わります。

3 スキップ／サーチ ⏮⏭ を押して放送局を選ぶ

長押ししてボタンから指を離すと、最初に受信した周波数で自動的に停止します（自動受信）。

受信ノイズ（雑音）により停止する場合があります。再度自動受信を行ってください。

AM受信の例

FM受信の例

（FMステレオ放送を受信した場合は、“ST”の表示が点灯します。）

よりよい受信をするために

FM放送
FMアンテナを伸ばし、最もよく聴こえる方向にアンテナを向けてください。

AM放送
最もよく聴こえる方向に本体を向けてください。

FMステレオ放送の受信について

- ステレオ放送を受信すると“ST”が表示されます。受信状態が悪化すると自動的にノイズの少ないモノラルに切り換わり、“ST”表示は消えます。
- AM ステレオ放送には対応していません。

放送局（受信周波数）を登録させる（プリセット）

お好みの放送局を、FMとAMそれぞれ４局まで登録できます。

■ 好みの放送局を選んでプリセット

1 FM または AM 放送を受信しているときに、スキップ／サーチ ⏮⏭ を押して登録したい放送局を選ぶ

2 登録させたいお好み選局ボタン（1 ▭、2 ▭、3 ▭ または 4 ▭）を長押しする

液晶表示部に“PROG”と“P01”が点滅表示され、約２秒後に放送局周波数が表示されます。

3 続けて登録するときは、手順の１～２を繰り返す

プリセットした放送局を選ぶ

登録したお好み選局ボタン（1 ▭、2 ▭、3 ▭ または 4 ▭）を押す

• ボタンを押すたびにプリセット番号が２秒間表示された後、放送局周波数が表示されます。

外部音声機器を聴く

携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーなどを外部入力端子に 3.5 φステレオミニプラグ付接続コード（別売）で、接続して本機のスピーカーから音声を楽しむことができます。

1 CD/FM/AM/LINE ▭ を押し、外部入力に切り換える

液晶表示部に“LINE”が表示されます。

CD/FM/AM/LINE ▭を押すごとにCD→FM→AM→LINEの順に切り換わります。

外部入力モード

2 外部音声機器の音声出力端子（イヤホン端子、ヘッドホン端子、ライン出力端子）を本機の外部入力端子（LINE IN）へ接続する（接続コードは別売）

3 外部入力端子（LINE IN）に接続した音声機器の音声を再生する

本機のスピーカーから音声が流れます。

4 ▼音量▲（🔈🔊）で音量を調節する

外部機器で、音量を調節することもできます。

お知らせ

- 携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーと接続するコードは、3.5 φステレオミニプラグ付接続コード（別売）を使用してください。

東芝エルイートレーディング株式会社
〒101－0021　東京都千代田区外神田1－1－8（東芝万世橋ビル）